



「エコペン」は、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

ENY ニュース

TEL : 023-679-3340 FAX : 023-679-3389

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp WEB : <https://eny.jp/>

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3-2-37



未来の
ために。
いま選ぼう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「アフターコロナに追い風が吹く」

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合直樹

昨年6月発行の会報に書いた原稿の冒頭に「新型コロナウイルスも国内ではようやく収束に向かいつつある」と書いてありました。ちょうど第1波が収まった頃です。よもや、その後、第4波まで続くとは思ってもいませんでした。山形市でもようやくワクチン接種が始まりました。私もなんとか予約できたものの、2回目の接種が終わるのは8月初めになるとのこと。まだまだ気は抜けません。

さて、令和2年度を振り返ると、ENYの事業は、特に産業科学館の業務において、長期間の休館を余儀なくされるなどの影響を受けたものの、全体的には堅調に推移しました。動画の配信やWebを活用した研修会等の実施など、職員の創意工夫によって、感染リスクを下げながら活動を継続してくれたことに感謝したいと思います。

アメリカのパリ協定への復帰、日本のCO₂削減目標が26から46%へ引き上げられたこと、ゼロカーボンやまがた2050宣言など、ENYの活動にも追い風が吹き出しています。エコアクション21の審査などで多くの事業所の経営トップとお話しする機会がありますが、彼らの多くは、気候変動の現状に憂慮し、規模や業種によらず、企業として環境への取組みを行うのは当然の責務であると感じています。昨年9月にENYが東北地域のEA21認証取得事業所に対して行ったアンケート調査の結果からも、取得の動機に「企業として環境保全に取組む必要がある」を挙げた事業所が「入札でのメリット」や「関連企業からの勧奨」といった理由を抑えて圧倒的多数となっていました。アフターコロナは、ゼロカーボンへのスタートです。環境への想いを共有する人たちとのネットワークを広げ、自信と自負を抱いて、我らの活動を推進していきましょう。



令和3年度 環境ネットやまがた通常総会を開催しました！

令和3年5月29日(土)13:30から、山形エコハウスにおいて、令和3年度通常総会を開催しました。今年度も、新型コロナウイルス感染防止対策のため、通常総会のみで開催とし、総会後の活動報告会並びに懇親会は、開催を見送らせていただきました。来年こそは、普段通りに開催し、皆様とお会いしたいです。

さて総会は、河合代表の挨拶の後、河合代表が議長となり議事に入りました。議事は、第1号議案から第3号議案まで、全て満場一致で議決成立し、お陰様で無事に終えることができました。

令和2年度はコロナ禍の中、いつもとは違った方法での活動が多かった年でしたが、なんとか終えることができました。最大のピックスは、山形エコハウスの購入です。山形エコハウスは建築してから12年目に入りました。「カーボンニュートラルハウス」をコンセプトに設計され、夏涼しく冬暖かい家です。

山形エコハウスを拠点として、令和3年度も引き続き活動を行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



～会報誌作成にあたって～

「第24号」の会報誌は、ページ数を増やし、各担当が「令和2年度の活動報告と令和3年度の活動計画」をまとめました。通常総会後に開催していた「職員による活動報告会」を今年度も新型コロナウイルス感染防止のために開催できなかったため、それに代えて各自が担当した事業について原稿を作成しました。

お読みいただければ幸いです。



コロナ禍でのイベント出展や研修開催。

○イベント出展

毎年、地域の皆様と連携し、産業まつりなどのイベントにブース出展し、温暖化防止の啓発活動を行ってきました。しかし、昨年度は様々なイベントが中止になってしまいました。そんな中でも、秋以降、展示イベントなどが開催され、その際に、地球温暖化対策地域協議会や地球温暖化防止活動推進員などと連携し、啓発活動を行いました（令和2年度：4回・6日間、延べ517名への啓発）



新庄雪まつりでの普及啓発

○地球温暖化防止活動推進員フォローアップ研修

毎年、地球温暖化防止活動推進員を対象とした研修会を開催しています。昨年度はコロナ禍であったため、どのように開催するか検討しましたが、会場参加とオンライン参加を併用する方法で、8月29日に開催しました。講師は、尚絅学院大学大学院 特任教授の長谷川 公一氏と東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科の三浦 秀一教授です。今年度も会場とオンライン参加を併用して研修会を開催しますので、ぜひご参加ください。



山形市でのクールチョイス！

昨年度も山形市では、環境省の補助金を受け、「山形まるごとCOOL CHOICE事業」を実施しました。環境ネットやまがたは、その一部を委託事業として受託し、「やまがたオンライン環境展への出展動画の作成」や「講演会の開催」、「大学生等との連携」、「省エネ家電・省エネ住宅の普及」の事業を実施しました。講演会は完全オンラインで開催し、「脱炭素に向かう世界の動向～脱炭素地域実現への展望」と題して、認定NPO法人気候ネットワーク事務局長の田浦健朗さんにご講演いただきました。

また、各団体にご協力をいただきながら、COOL CHOICEや省エネ家電、省エネ住宅の動画も作成しました。



森林整備活動への参加と環境教室

山形日産自動車株式会社さんが行っているやまがた絆の森「ニッサンの森」(朝日町)の森林整備活動に参加しました。

また、11月には、山形県産業科学館で小学生の親子向けに環境・工作教室を行い、山形日産自動車株式会社さんから「電気自動車などの次世代自動車のお話」をお聞きし、そのあと、ソーラーカー作りの工作を行いました。



令和3年度「目指せ！カーボンニュートラル 家庭のアクション」の実施

令和3年度、県内の家庭を対象として、「目指せ！カーボンニュートラル 家庭のアクション」を実施します。「カーボンニュートラル」の考え方や取組みなどを知り、行動するきっかけとなる事業を実施し、二酸化炭素排出量削減の取組みの定着化を図ります。

パンフレットに例示した家庭での行動メニュー（カーボンニュートラルに繋がる取組み）の中から、実践していること、これから実践することを選択していただき、その内容を報告していただきます。また、「家庭で実践できるカーボンニュートラルな取組みアイデア」も募集します。

ご参加いただいた方には、企業や団体から協賛いただいた賞品を抽選でお渡しします。

後日パンフレットをお送りしますので、ぜひご参加ください！



「ストップ温暖化エコカップやまがた 2019」の開催、「脱炭素チャレンジカップ 2020」出場

令和2年10月24日「ストップ温暖化エコカップやまがた 2020」の活動事例発表会を開催しました。報告いただいた全39団体(全49事例)の中から実行委員会より推薦された8団体が事例発表を行いました。

発表団体のうち、「ドリームやまがた里山プロジェクト」に『エコカップやまがた大賞』が、「山形県立酒田光陵高等学校エネルギー技術科」に『エコカップやまがた実行委員特別賞』が贈られました。

大賞を受賞した「ドリームやまがた里山プロジェクト」は、令和3年2月9日にオンライン開催された「脱炭素チャレンジカップ 2021」にて、山形県代表として「自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築」について事例発表を行いました。取組は賞賛に値するとの評価を受け、優秀賞が授与されました。



脱炭素チャレンジカップは、オンライン開催でした。

「和の住まいリレーシンポジウムinやまがた」の開催

国では、日本の地域の気候・風土・文化に根ざした住まいづくりや住まい方を含めた「和の住まい」を推進しています。また、山形では、住宅の断熱・気密性能を高めることで、冬期の暖房使用量の削減や住生活空間の快適性の向上、健康面へのメリットに繋がる省エネ住宅の普及が必要となっています。そのため、冬の快適性も含めた「和の住まい」を考えるシンポジウムを開催し、77名の参加をいただきました。

日時：令和2年11月27日(金)13:30～17:00

場所：山形ビッグウイング

- ・施策説明(国土交通省、経済産業省、農林水産省)
- ・基調講演「和の住まいや住宅の省エネ対策について」

有限会社西方設計 代表取締役 西方里見氏

- ・パネルディスカッション、事例紹介

菊池佳晴建築設計事務所 代表 菊池 佳晴氏

株式会社アーキテクチャランドスケープ

一級建築士事務所 代表取締役 渋谷 達郎氏

コルポ建築設計事務所 代表 石山 寛氏



「ストップ地球温暖化 「脱炭素×SDGs」推進セミナー」の開催

地球温暖化防止に向けた対策と、SDGs「持続可能な開発目標」が提唱する17のゴールを達成させること、これからの地球温暖化対策は、SDGsと合わせて考える必要があります。そのため、「脱炭素×SDGs」推進セミナーを全2回開催しました。

○令和2年11月25日開催

「地球温暖化と山形県の気候変動」

講師 山形地方気象台 次長 栗田 邦明 氏

「持続可能な社会とSDGs」

講師 株式会社CSRインテグレーション

代表取締役 今田 裕美 氏

○令和3年1月15日開催

「SDGコンパスの活用」

講師 株式会社CSR

インテグレーション

代表取締役

今田 裕美 氏



「ホームページ、SNSなどを使った 情報発信

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、各地でのイベントが中止・延期になりました。

そのため、何か別の方法で啓発活動ができないかと考え、ホームページやSNS(フェイスブック、インスタグラム等)を使った情報発信に力を入れました。

今年度も継続して実施したいと思いますので、「自分が取組んでよかった省エネ、再エネなどの実践例」などについて、情報をお寄せください。

ぜひ、よろしくお願いします！

やまがた ECO 情報館→



フェイスブック



インスタグラム



ツイッター

再生可能エネルギー補助金について

県の委託事業として本法人としては4年目になります。補助金申込の受付、一次審査、県への報告、現地調査、手続きに関する相談対応、再生エネルギー設備に関する普及啓発等を2名で担当しています。

昨年度の申込み件数は蓄電池設備、ペレット・薪ストーブなどおよそ450件ありー昨年より増加しています。FIT法(固定価格買取制度)の改正や災害時対応などから蓄電池への関心が高く、申込が集中し5月初めで当初予算額に達したため、募集を締め切りました。その後、補助金の追加募集が3次まであり、いずれもすぐに予算に達し募集締め切りとなりました。件数としては、追加募集により蓄電池設置への補助が増加し、全体が増加しました。ペレット・薪ストーブ、地中熱等への補助の申し込みは、前年並みとなりました。

令和3年度は、新しい対象設備が追加されました。太陽光を既に設置されている方に対する蓄電池設備(上限額10万円)とV2H設備(上限額25万円)です。蓄電池を後から設置することは、昨年まで国が災害時対応で支援を行っていましたが、終了したため、県が支援を開始しました。V2H(Vehicle-to-Home の略)は太陽光で発電した電気を車に充電したり、車に蓄えた電気を家庭に供給したりするための設備です。クリーン社会の実現に向け、国も支援を行っていますが、県は住宅向けのみを対象としています。

太陽光発電と蓄電池を同時設置した場合、メールによる申し込みがなくなり、事業完了後、申請兼報告を行うことになりました。また、蓄電池は国内メーカー製に限定することになりました。その他は大きな変更はありません。申込件数は昨年実績より増加する見通しです。

4月末より受付を開始していますが、今年度もやはり蓄電池への関心が高く、特に、今年度開始しました蓄電池後付けの申し込みが多くなっています。



○令和2年度活動写真(ほんの一部ですが、ご紹介します！)



環境・工作教室



エコアクション21普及戦略会



地球温暖化について学ぶ企画展



地球温暖化防止活動推進員候補者研修

カーボンニュートラルの実現に向けて

コロナ禍で様々なことが変わった令和2年ですが、実は地球温暖化防止に関して、とても大事なそして重大な変化があった年でした。令和2年1月にパリ協定の取組期間がスタートしました。そして、8月に山形県が「ゼロカーボンやまがた 2050」を宣言。10月には、国が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言。そして、令和2年1月以降、県内の市町が続々と「ゼロカーボンシティ」を表明しています。(東根市、米沢市、山形市、朝日町、高島町、庄内町、飯豊町、南陽市、川西町、鶴岡市、尾花沢市:2021.5.14現在)

また、令和3年3月には「山形県第4次環境計画」が策定されました。山形県のホームページに内容が公開されていますので、ぜひご覧ください。

※ゼロカーボンシティ宣言・・・2050年の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする。

・地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明の状況

<https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html>

・ゼロカーボンやまがた 2050

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/kurashi/kankyo/ondanka/zerocarbon.html>

・「山形県第4次環境計画」

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/kurashi/kankyo/management/plan/4thplan.html>

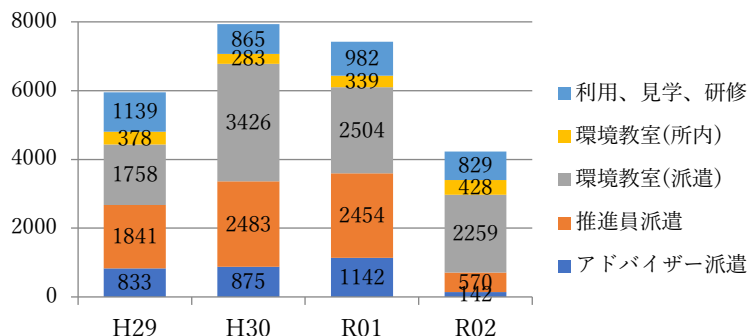


○山形県環境科学研究センターでの活動について

県内での環境学習の普及

山形県環境科学研究センター情報棟の管理運営を行うとともに、環境学習や教育の支援、再生可能エネルギー施設の案内、情報の収集・発信、相談対応等を実施しました。

■令和2年度環境学習施設利用者数(実績)



■件数(実績)

	単位: 件			
	H29	H30	R01	R02
アドバイザー派遣	23	27	32	6
推進員派遣	45	51	46	18
環境教室(派遣)	48	95	78	89
環境教室(所内)	20	17	15	11
出展・自主事業等	16	10	8	1
合計	152	200	179	125

※目標の設定: 第3次山形県環境計画を参考

基本目標: 環境教育を通じた環境の人づくり

管理指標値: 環境学習施設利用者数(=県立自然博物館(西川町志津)+山形県環境科学研究センター) (目標値) R02 17,000 人

※県立自然博物館(西川町志津)は、例年およそ 10,000 人とのことより、目標値を 7,500 人としてます。

■小学校へのアプローチ

	H29	H30	R01	R02
学校数	16	20	22	31
件数	21	27	37	54

コロナ感染拡大の収束が見えない中、将来への足掛かりをつくるという目的で「小学校向け環境教室」を増やすことにチャレンジしてみました。小学校ではコロナ禍にあって校外学習の実施が難しい折、それに代えての「出前講座」を積極的に PR・実施しました。また、新規の小学校数校よりご来館いただき、座学・リサイクル工作・発電実験器の体験等の講座をいくつかのグループに分けてローテーションにより受講するという「体験型校外学習」を企画・実践してみました。

■環境教室の風景



01.19 寒河江市の小学校へ出前講座
木工クラフト「フォトフレームづくり」



01.26・28 天童市の小学校 6 年生が来館
「体験型校外学習」



【令和3年度事業計画】

1. テーマの選定 「環境教育普及促進」事業が毎年継続的に発展すること！
2. 目標の設定 「環境学習施設利用者数」実績が毎年前年度実績を上回ること！
目標値: 7,500 人 (チャレンジ目標値 8,000 人)
3. 達成手段
 - 3-1 小学校向け環境教室実施件数を増やす
 - ① 実施学校数を増やす R02 31 校 ⇒ R03 目標 40 校
・県内約 240 校向けの情報配信として e-mail を活用し、PR 回数を増やす！
 - ② 体験型校外学習(来館)の件数を増やす
・e-mail の活用による PR の他、教職員の研修会(@センター)を積極的に招致し PR する。
 - ③ 環境教室メニューを増やす
・小学校教科書の全科目・全単元を確認し、新メニューを開発する！
 - 3-2 教育委員会・公民館向けと放課後児童クラブ向け件数の維持
 - ① リサイクル工作・木工クラフトの新メニュー開発
新商品開発キーワード…『なかなかない普通の技術』
 - ② ロコミ営業展開の継続

エコアクション21事業について

■事業報告

2020年4月1日付で「エコアクション21 中核地域事務局」の承認を受け、東北6県の認証登録の窓口業務や普及啓発活動を実施しました。

①認証・登録事業所数

全国の認証・登録事業所数(令和3年5月25日)…7536件

環境ネットやまがた認証・登録事業所数(令和3年5月25日現在)…351件

②審査員力量向上研修会、認証登録事業者向けのフォローアップセミナーを開催しました。

③全国的にエコアクション21の取得数が伸び悩む中、運営委員会とは別に、今年度より普及戦略会議を発足しました。その中で、新たなアクションプランをまとめ、認証拡大を目指していきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の年でしたが、新規登録事業所数は前年よりも多い年となりました。ただ同時に、認証を取り下げる事業所もあり、更なる認証拡大へのアプローチ並びに現在認証登録している事業所へのサポートも急務です。

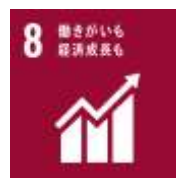
■事業計画

①審査員力量向上研修会を開催予定です。

②普及戦略会議にて、アクションプランを策定し、認証取得拡大を目指します。

③GP・IPによりエコアクション21認証取得拡大を図ります。

また、審査員力量向上研修会や認証取得事業所を対象としたフォローアップセミナーを開催予定です。



環境ネット
エコアクション21



○エコアクション21判定委員の紹介

委員をお願いしている皆さんをご紹介します

<第1判定委員会>



澤根 敏弘さん

県職員時代に培った環境行政(公害・廃棄物)の経験が多少なりと役立つのであればと思い、令和元年12月より地域判定委員をお引き受けしました。これまで、審査報告書を通して多くの取り組みを拝見してきましたが、EA21は企業の持続的成長に大変有効であり、普及拡大が期待されるところです。判定委員として引き続き公正な審査に勤めて参りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



大澤 修一さん

令和2年からEA21の判定委員をさせて頂いている大澤です。EMSとの付き合いは20年を超え、経験の長さを良い方向に使えるかと考えています。判定委員は、審査結果を大所高所から評価・判断する事を要求されていますが、なかなかその域に達することができません。今後も大きく捉えた評価を心掛けて行きますので、宜しくお願い申し上げます。



鈴木 伸二さん

この度、諸先輩の皆さんからの厳しくも優しい研修、指導を無事修了し新たに判定委員に委嘱されました鈴木伸二です。受審企業、団体及び審査員の方に良いアドバイスとなるような協議が出来ればと思っています。先日も何度も資料に目を通しましたが、皆さんの指摘内容を聞いているとまだまだ不足を感じました。建設的な発言ができるよう向き合い、取組んで行きますのでよろしくお願いします。

<第2判定委員会>



佐竹 良廣さん

エコアクション21地域判定委員として、認証・登録の可否の判定だけでなく、審査結果等へ建設的な意見、提案等を積極的に発し、企業価値を向上させるツールである環境経営のためのマネジメントシステム「エコアクション21」の発展と普及に微力ながら寄与できるよう頑張ります。



三條 政敏さん

EA21判定委員会は、昨年4月より参加させて頂いております。前の会社ではISOの事務局を担当、EA21は初めてです。今後とも判定委員として少しでもお役に立てられるよう努めます。ふだんは、自宅内の畑でジャガイモ、ナス、トマト、キュウリなどを作っています。始めてから5年、未だに野菜作りの難しさを感じます。



田代 信さん

このご時世、ステイホーム続き。卓上コンロ「炬燵大将」を引っ張り出し「テラス焼き鳥」を楽しむ日々が続いています。製造業のISO/環境/CSR事務局を経験してきましたが、なにせ blanks が数年。EA21環境用語の理解から再学習です。先輩方について、地域事務局「環境ネットやまがた」の価値を高められる様努めたいと思います。よろしくお願いします。

山形県環境保全協議会の活動

令和2年度の活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、理事会や総会が書面表決になり、セミナーはオンライン開催、視察研修は動画を撮影し編集したDVD配布などになりました。

今年度も理事会及び総会が書面表決となっていますが、事業内容としては、いつまでも事業を停滞させたくないという思いから、前向きに考え事業計画を作成しています。大きな変更点は、例年総会後に開催していた講演会を12月に予定しているセミナーにあわせて開催することと、東日本大震災復興支援事業に代えて海のマイクロプラスチックの問題を含めて海ゴミのクリーンアップ活動とゴミ問題を考える活動としたことです。

新型コロナウイルスの感染状況が今後どの様になるのかわかりませんが、ワクチン接種も始まり、感染が終息することを祈りながら、出来るだけの事業を展開してまいりますので、多数のご参加をお待ちしています。

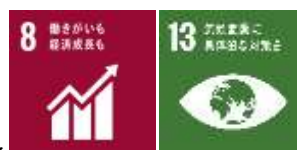


地域プラットフォーム構築事業「省エネお助け隊」

本事業は、平成27年度に策定された長期エネルギー需給見通し(エネルギーミックス)における2030年度の省エネ目標を達成するため国が始めた、地域の中小企業等に対するエネルギー利用最適化の推進事業です。当法人は、国から事業を請け負った(一社)環境共創イニシアチブの公募に応募し山形県をエリアとして活動をしています。

具体的には、省エネルギーに課題を抱えている中小企業等に、専門家を派遣し省エネ診断やその結果をもとにきめ細かな支援を行います。これまで毎年20社程度の支援を行ってありますが、昨年は山形県の実施した「令和2年度「新・生活様式」CO2削減推進事業費補助金事業」により空調設備の更新に係る補助金が交付されたため、導入に伴う省エネ診断の依頼が増えて26社と過去最大の支援を実施しました。

しかし、令和2年度までは無料で支援を行っていましたが、令和3年度からは、事業者の1割負担になっており、相談・依頼件数の減少になるのではないかと心配しているところです。



山形県産業科学館での活動

● ワークショップ再開！ つくり方を動画でも紹介

山形県産業科学館の人気工作教室であるワークショップが、5か月ぶりに再開されました。「たんけん科学ランド相談員」による、親子で楽しめる工作教室です。5月は、“鉄棒であそぼう”“かぜのメリーゴーランド”“針金ごま”のテーマで3回実施しました。参加者には、一緒に何かをつくれるいい機会になりましたと、たいへん好評でした。これからも、毎週土曜日・申し込み制・30分に1組のやり方で開催していく予定です。身近な材料でつくる工作を、動画でも紹介しています。



● 企画展「おかえり！ はやぶさ2」開催中！

昨年12月、はやぶさ2のミッションによるカプセルが、地球にみごと帰還しました。その様子を展示する「おかえり！ はやぶさ2」の企画展が、2階と4階で開催されています。2階でパネル展、4階ではターゲットマーカー模型の展示です。期間は、5月15日(土)から6月30日(水)までとなります。期間中は、“はやぶさ2 ペーパークラフト”の配布と、“のぼれのぼれ はやぶさ2”の工作がおこなわれます。



★リレー企画「会員から一言」★ No. 1 松村俊男さん（鶴岡市在住）

会員より一言リレー形式で始まるとの事で、1番手となってしまいました。

環境ネットやまがたを立ち上げ、その後70歳になり、一会員として第三の人生を楽しく生活することを基本にしております。現在は、ISO14001、エコアクション 21 の審査員の仕事を通じて、企業の環境パフォーマンス向上のお手伝いをしております。その合間に、四国お遍路、日本百観音巡礼を結願し、これからは全国一の宮の旅にでかけていき、日本古来の歴史、ふれあいに出かけようと思います。趣味は、バラの栽培に興味があり、現在86品種、100本程度となり、6月初旬の満開日の準備に忙しい毎日です。

家庭でのバラ園としては、理想郷、パラダイスをめざしているこの頃です。フェイスブックでも掲載しております。



2021年6月1日自宅にて

会員の皆様からの一言を繋いでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。（事務局）

★スタッフ紹介★ それぞれの活動場所ごとに一言コメントなど。

＜山形エコハウス 2 階＞



（大場事務局長）
お陰様で第 18 期も山形エコハウスで迎えることができました。皆でカーボンニュートラルの難題にチャレンジしましょう。



（長岡事務局次長）
本年は地域プラットフォーム構築事業の担当になります。また、EA21 事務局を離れ、審査員として復活します。どうぞよろしくお願いいたします。



（河合主任）
産休・育休を頂いておりましたが、このたび職場復帰しました。復帰 3 日目、娘熱を出し早退…。そのうちいい思い出になる事を信じて（笑）日々育児に奮闘しております！



（二藤部主任）
昨年度は、事業が途中で増えたり、オンラインに挑戦したりなど様々ありました。今年度も忙しくなりそうな予感があります…



（菊地）
朝晩の冷え込みに早く夏になれ！と思う反面、自分の肌とマスクを考えるとあまり暑くならないでほしいなあと思うこの頃です。



（阿部）
今年は、伊藤さんが耕した畑に里芋、西瓜、トウモロコシ、枝豆を植える予定です。たくさん収穫でき、おいしく食べれるようお願いしてます。緑のカーテンもあります。

＜山形県環境科学研究センター 情報棟＞



（安藤主任）
これからも環境学習の普及促進がんばります。



（吉田）
6 月より情報棟でお世話になりました。早く仕事に慣れるように頑張ります。

＜山形県産業科学館＞



宮野館長のもと、太田庶務主任、佐藤技術主任、金澤業務主任、合計 11 名で頑張っています。

入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

★メルマガ・フェイスブック開設しています★

環境ネットやまがたでは、メルマガ（月 1 回配信）やフェイスブックでイベントなどの情報を配信しております。メルマガ購読希望の方は以下のアドレスまでご連絡ください。

Email eny@chive.ocn.ne.jp

また、フェイスブックではイベント会場などからアップしておりますので、環境ネットやまがたの日頃の活動がよくわかると思います♪

♪編集後記♪

会報誌の内容はいかがでしたか。今回もカラー版をホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。
また、暑い夏がやってきそうですので、熱中症にもお気を付けください。